

平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年7月31日

上場会社名 日本テクノ・ラボ株式会社 上場取引所 札  
 コード番号 3849 URL http://www.ntl.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松村 泳成  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 鈴木 孝男 (TEL) 03-5276-2810  
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月14日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	133	28.5	△19	-	△18	-	△12	-
27年3月期第1四半期	103	19.6	△29	-	△29	-	△19	-
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
28年3月期第1四半期	△15.82		-					
27年3月期第1四半期	△24.23		-					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	1,050	872	83.1
27年3月期	1,064	885	83.1

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 872百万円 27年3月期 885百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
28年3月期	-	-	-	-	-
28年3月期(予想)	-	0.00	-	-	-

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)									
通期	700	29.0	58	147.1	60	139.7	35	96.0	43.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

28年3月期1Q	848,000株	27年3月期	848,000株
----------	----------	--------	----------

② 期末自己株式数

28年3月期1Q	50,300株	27年3月期	50,300株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

28年3月期1Q	797,700株	27年3月期1Q	797,700株
----------	----------	----------	----------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	5
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	5
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	5
3. 四半期財務諸表 .....	6
(1) 四半期貸借対照表 .....	6
(2) 四半期損益計算書 .....	8
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9
4. 補足情報 .....	11
(1) 生産、受注及び販売の状況 .....	11
(2) 研究開発費の状況 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社は、既存顧客への運用支援を行いながら製品の品質・機能をさらに向上させ、顧客満足度を上げることによりユーザとの信頼関係を築きつつ、競争力のさらなる強化に努め、新規ユーザを獲得すべく営業活動に邁進し、当第1四半期累計期間における受注高は、過去同期比として、2008年度以来の最高額となり、ビジネスソリューション事業を除く3事業において、売上高を伸ばすことができました。

その結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高は133,572千円（前年同期比28.5%増）、営業損失は19,266千円（前年同期営業損失29,574千円）、経常損失は18,804千円（前年同期経常損失29,286千円）、四半期純損失は12,617千円（前年同期四半期純損失19,330千円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### (イメージング&プリンタコントローラ事業)

当事業におきましては、主に産業用インクジェット・プリンタ用制御ソフトウェア(\*1)、広巾長尺プロッタ用制御ソフトウェア(\*1)、ポストスクリプト・ラスライザ(\*2)の開発、販売および保守業務を行っております。

当第1四半期累計期間におきましては、前年同期比として、受託開発による売上高は減少したものの、製品開発売上高が3倍強増加したことにより、利益が増加いたしました。

その結果、売上高は74,486千円（前年同期比58.7%増）、利益は21,712千円（前年同期比72.8%増）となりました。

#### (ストレージソリューション事業)

当事業におきましては、主に可搬型記憶媒体システム(\*3)の開発、販売および保守業務を行っております。

当第1四半期累計期間におきましては、前年同期比として、製品売上高が2倍弱増加いたしました。可搬型記憶媒体システムのために、前年同期比として、2倍強の研究開発費を計上したため、損失は増加いたしました。

その結果、売上高は14,441千円（前年同期比47.1%増）、損失は8,245千円（前年同期損失4,737千円）となりました。

#### (セキュリティ事業)

当事業におきましては、主にセキュリティプリントシステム(\*4)および統合監視映像システム(\*5)の開発、販売および保守業務を行っております。

当第1四半期累計期間におきましては、前年同期比として、セキュリティプリントシステム部門の売上高は僅かに減少いたしました。統合監視映像システム部門の売上高が2倍弱増加したことにより、当事業としての売上高は増加いたしました。また、統合監視映像システム部門の損失が半減したことにより、当事業としての損失は減少いたしました。

その結果、売上高は30,262千円（前年同期比7.8%増）、損失は8,660千円（前年同期損失18,571千円）となりました。

#### (ビジネスソリューション事業)

当事業におきましては、主に顧客のニーズに応じた特殊なソフトウェアの受託開発、販売および保守業務を行っております。

当第1四半期累計期間におきましては、受託開発による売上高は増加したものの、商品売上高、製品売上高、保守売上高が減少したため、当事業としての売上高、利益ともに減少いたしました。

その結果、売上高は14,381千円（前年同期比24.7%減）、利益は3,190千円（前年同期比66.3%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は以下のとおりです。

### (流動資産)

当第1四半期会計期間末の流動資産合計は701,131千円と前事業年度末に比べて18,531千円減少しました。減少した主な要因は、現金及び預金が83,014千円、商品及び製品が19,301千円増加しましたが、受取手形及び売掛金が111,160千円、仕掛品が22,518千円減少したこと等によるものです。

### (固定資産)

当第1四半期会計期間末の固定資産合計は349,486千円と前事業年度末に比べて4,527千円増加しました。増加した主な要因は、保険積立金が4,856千円増加したこと等によるものです。

### (流動負債)

当第1四半期会計期間末の流動負債合計は107,688千円と前事業年度末に比べて1,458千円減少しました。減少した主な要因は、前受金が31,892千円、買掛金が7,227千円増加しましたが、未払金が24,278千円、未払法人税等が8,693千円、未払消費税等が8,975千円減少したこと等によるものです。

### (固定負債)

当第1四半期会計期間末の固定負債合計は70,370千円と前事業年度末に比べて22千円増加しました。増加した主な要因は、繰延税金負債が22千円増加したこと等によるものです。

### (純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産合計872,559千円と前事業年度末に比べて12,567千円減少しました。減少した主な要因は、四半期純損失の計上等により利益剰余金が12,617千円減少したこと等によるものです。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

#### ① イメージング&プリンタコントローラ事業

当事業におきましては、アルミ箔や錠剤のデジタル印刷機の量産機として、リピートを見込んでおります。また、今秋、新ヘッド対応や新規手法によるドライバをリリースし、技術が確立されたこれらのデジタル印刷機関連において、国内外をリードすべく営業活動を展開してまいります。

#### ② ストレージソリューション事業

当事業におきましては、従来の光ディスクライブラリーシステムはサーバとライブラリー装置が別々でありましたが、サーバとライブラリー装置の一体型アプライアンスシステムの販売を開始します。また、従来のシステム価格帯に比べ低価格帯のシステムとして販売することが可能ですので、新たなユーザー市場を開拓し営業拡販をすすめてまいります。

#### ③ セキュリティ事業

当事業のセキュリティプリントシステム部門においては、個人の認証による認証印刷では、本当の意味でのセキュリティは保てませんが、当社製品のSPSEは文書内容そのものの検閲と監査を行える製品として、メガバンクをはじめとした大規模導入の実績を誇ります。プリンターメーカーによる認証印刷を導入済みのお客様にも現在の環境を崩すことなくSPSEを導入できるようSPSE Print Loggerを販売開始いたしました。SPSE Print Loggerは、MPSのツールとしても利用可能であり、異なるメーカーのプリンター状態を一元管理でき、オフィスセキュリティとオフィス環境を見直すことが可能なツールとなっております。本ツールを含めて、海外への展開を目標として営業活動を展開してまいります。

当事業の統合監視映像システム部門においては、空港監視、および電力監視でニーズが堅調であり、引き合いも順調に推移しております。新市場のフードディフェンスは相変わらずニーズが旺盛で秋口にかけて複数件の納入と新規受注が予定されております。当社の強みの柔軟なカスタマイズ対応が受注に大きく貢献しております。また、販促活動の成果により新規顧客との取引も期待できる状況になりつつあります。

#### ④ ビジネスソリューション事業

ビジネスソリューション事業においては、サービス・サポートを通じて既存顧客を積極的に維持するとともに、当社の技術およびノウハウにより問題を解決し、顧客満足度の向上及び顧客の企業価値を高めることに努めます。同時に、最新の市場ニーズや動向をくみ上げ、新たな柱となり得る新規分野への参入に戦略的な意思を持って取り組んでまいります。

(\*1) ソフトウェア名：Mistral

(\*2) ソフトウェア名：PSR2, PSR3

(\*3) ソフトウェア名：MnemosNEXT

(\*4) ソフトウェア名：SPSE

(\*5) ソフトウェア名：FireDipper

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	410,423	493,438
受取手形及び売掛金	221,124	109,964
商品及び製品	29,242	48,543
仕掛品	43,131	20,612
前払費用	11,690	17,762
繰延税金資産	1,557	7,584
1年内回収予定の長期貸付金	2,441	2,441
その他	341	944
貸倒引当金	△290	△160
流動資産合計	719,663	701,131
固定資産		
有形固定資産		
建物	12,199	12,199
減価償却累計額	△10,301	△10,447
建物(純額)	1,898	1,751
車両運搬具	10,039	10,039
減価償却累計額	△9,040	△9,165
車両運搬具(純額)	998	873
工具、器具及び備品	42,374	41,094
減価償却累計額	△35,652	△34,053
工具、器具及び備品(純額)	6,722	7,041
有形固定資産合計	9,619	9,666
無形固定資産		
特許権	509	466
商標権	440	411
ソフトウェア	2,182	1,806
電話加入権	1,569	1,569
無形固定資産合計	4,702	4,253
投資その他の資産		
投資有価証券	3,532	3,605
関係会社株式	21,000	21,000
出資金	10	10
差入保証金	49,385	49,385
保険積立金	252,409	257,266
その他	6,000	6,000
貸倒引当金	△1,700	△1,700
投資その他の資産合計	330,636	335,566
固定資産合計	344,958	349,486
資産合計	1,064,621	1,050,618



(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成27年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	24,626	31,853
未払金	29,311	5,032
未払費用	11,298	12,726
未払法人税等	9,458	764
未払消費税等	13,854	4,878
前受金	18,251	50,143
預り金	2,167	2,108
その他	179	179
流動負債合計	109,147	107,688
固定負債		
長期末払金	69,614	69,614
繰延税金負債	733	756
固定負債合計	70,347	70,370
負債合計	179,495	178,058
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	401,200	401,200
資本剰余金	395,700	395,700
利益剰余金	122,960	110,342
自己株式	△36,271	△36,271
株主資本合計	883,589	870,971
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,537	1,587
評価・換算差額等合計	1,537	1,587
純資産合計	885,126	872,559
負債純資産合計	1,064,621	1,050,618

## (2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	103,920	133,572
売上原価	63,926	72,733
売上総利益	39,993	60,838
販売費及び一般管理費	69,567	80,105
営業損失(△)	△29,574	△19,266
営業外収益		
受取利息	37	221
保険事務手数料	222	212
その他	28	52
営業外収益合計	288	486
営業外費用		
為替差損	1	23
営業外費用合計	1	23
経常損失(△)	△29,286	△18,804
特別利益		
固定資産売却益	-	259
特別利益合計	-	259
特別損失		
固定資産除却損	-	28
特別損失合計	-	28
税引前四半期純損失(△)	△29,286	△18,572
法人税、住民税及び事業税	72	72
法人税等調整額	△10,028	△6,027
法人税等合計	△9,955	△5,954
四半期純損失(△)	△19,330	△12,617

## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

① 前第1四半期累計期間(自平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

(i) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	イメージング& プリンタコント ローラ事業	ストレージソ リューション 事業	セキュリティ 事業	ビジネスソリュ ーション事業	
売上高					
外部顧客に対する売上高	46,929	9,819	28,066	19,104	103,920
セグメント間の内部売上高又 は振替高	—	—	—	—	—
計	46,929	9,819	28,066	19,104	103,920
セグメント利益又は損失(△)	12,568	△4,737	△18,571	9,458	△1,282

(ii) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△1,282
全社費用(注)	△28,292
四半期損益計算書の営業損失(△)	△29,574

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

② 当第1四半期累計期間（自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日）

(i) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	イメージング& プリンタコント ローラ事業	ストレージソ リューション 事業	セキュリティ 事業	ビジネスソリュ ーション事業	
売上高					
外部顧客に対する売上高	74,486	14,441	30,262	14,381	133,572
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	74,486	14,441	30,262	14,381	133,572
セグメント利益又は損失(△)	21,712	△8,245	△8,660	3,190	7,997

(ii) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	7,997
全社費用(注)	△27,263
四半期損益計算書の営業損失(△)	△19,266

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 4. 補足情報

### (1) 生産、受注及び販売の状況

#### (受注状況)

当第1四半期累計期間の受注状況をセグメント別に示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当1四半期累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)			
	受注高 (千円)	前年同期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同期比 (%)
イメージング&プリンタコントローラ事業	61,616	△24.7	83,617	49.0
ストレージソリューション事業	24,680	125.1	13,251	110.4
セキュリティ事業	211,007	53.9	206,869	49.4
ビジネスソリューション事業	10,031	△47.5	743	438.4
合計	307,334	23.4	304,482	51.5

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(注) 受注残高合計の内、当事業年度に売上が見込まれる受注残高は168,325(千円)であります。

#### (販売実績)

当第1四半期累計期間の販売実績をセグメント別に示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	
	金額(千円)	
	売上高(千円)	前年同期比(%)
イメージング&プリンタコントローラ事業	74,486	58.7
ストレージソリューション事業	14,441	47.1
セキュリティ事業	30,262	7.8
ビジネスソリューション事業	14,381	△24.7
合計	133,572	28.5

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

### (2) 研究開発費の状況

当第1四半期累計期間における当社の研究開発費の総額は、24,991千円(前年同期比28.1%増)となりました。その主な内容は、FireDipper新機能開発、SPSE新機能開発及びMnemosNEXT開発等に関する研究開発活動であります。